

協定校留学報告書

記入日	2019年 5月 31日
所属	人文学部・人文コミュニケーション
学年	4年次
留学先大学	ウィスコンシン州立大学スペリオール校
留学開始・終了時期	2018年 9月 ～ 2019年 5月 (留学開始時期 3年次) (8カ月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
私は様々な人と出会い、視野を広げることを大学生活の一つの目標にしていました。一年間の交換留学は世界各地の人と交流を深める絶好の機会と考え、留学を決意しました。
② この協定校に決めた理由を教えてください。
この大学に決めた理由は2つあります。1つは、クラスが少人数制でディスカッション形式の授業が多いことです。スピーキングの機会が多いということは不安要素でもありましたが、挑戦しなければいけないことだとも思ったためです。もう1つは、ジェンダー学のクラスがあったためです。私は所属ゼミで途上国や日本のジェンダー問題について扱っていましたが、茨城大学には「ジェンダー学」という科目はありませんでした。そのため、ジェンダーとは何かを基礎から知る良い機会になると思い決断しました。
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
留学前には英語で行う授業を幾つか受講していました。中でも Writing の授業は 10 数枚のレポートを作成するため、書く能力だけでなく忍耐力も鍛えられました。実際、留学中も文系の授業では毎週のように何かしらのレポートは課されるので、良い準備ができたと思いました。
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。
留学前までの修得単位の確認は必須です。特に4年間での卒業を考えている場合、協定先で取る授業も振替ができやすそうな授業を履修する必要があると思います。また卒業の予定を遅らせるかどうかなども、ゼミの先生や両親と相談しておくことで留学中の計画も立てやすいと思います。
⑤ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 (<input type="radio"/>) b. 個人の保険のみ (<input type="checkbox"/>) c. 大学指定の保険と個人保険の両方 (<input type="checkbox"/>)
⑥ 予防接種は必要でしたか。() に○をつけてください。
a. はい (<input type="checkbox"/>) 具体的に： b. いいえ (<input checked="" type="radio"/>)

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。

Fall Semester

ESL (English as a Second Language) Writing, Reading, Listening:

週3日1回50分 (Listening は週2日) : 英語圏出身ではない留学生の多くが最初の学期で履修するため留学生の友達ができやすく、毎回小さい課題があるため英語に慣れていきやすいです。

Introduction to Gender Studies:

週2日1回75分 : ジェンダー学とは何かを基礎から学びます。フェミニズム運動全体の流れから今日の社会におけるジェンダー問題を2週間ペースでテーマを変えて授業が進みます。

Introduction to Intercultural Communication

週2日1回75分 : 人種差別や白人至上主義などが歴史的にどう見られてきたかを問題に取り上げ、異文化をどう理解するかをディスカッション形式で学びます。

Spring Semester

People and the Environment:

週3日1回50分 : 現在起きている環境問題を本やニュース、映画などを通して学び、私たちができることは何か、また環境問題に対してどのようなアプローチの仕方が適切なのかをディスカッション形式で学びます。

Sociology of Gender:

週2回1回75分 : ジェンダーはどのように私たちの社会に影響を与えているのか、またそれらがいかにして不平等を生んでいるのか、さらに生物学的な性の違いはジェンダー問題にどれくらい影響があるのかなどを家族、学校、職場といった社会制度の中に事例を見つけながらディスカッション形式で学びます。

Music and World Culture:

週3日1回50分 : 西洋以外の音楽の歴史や文化を講義形式で学ぶ。南アメリカ、サブサハラアフリカ、中東、南アジアを中心にそれぞれの地域の伝統的な楽器の特徴や、歴史的な音楽の役割などを学びます。

Social Square Dance:

週3日1回50分 : 男女2人ずつ4組を1チームとして行うスクエアダンス。40人以上のクラスのため沢山の人と知り合え、日本ではなかなかできない経験ができる授業です。

② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。

100番台のクラスでも学ぶことが多く授業についていくのが大変なこともあるため、最初のセメスターはあまり詰め込みすぎないほうが良いと感じました。

③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。

やはり一番苦労したことは言いたいことを言えないということです。質問の内容が理解できても、言いたいことが英語で伝えられない、時には日本語ですら自分の意見が思い浮かばないときはとても悔しかったです。しかし簡単な英語でも伝えようという気持ちを持ってはっきりと発言すれば、みんなも理解しようとしてくれます。また私が履修した授業の多くは文系科目だったのでレポート

の課題が多かったのですが、日本の大学で学んだことも生かして書くと良いと思います。レポートの点数ではローカルの学生よりも良いことが多くありました。

3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか

キャンパスの広さは他のアメリカの提携校よりは小さいと思います。大学の近くにはローカルレストランが数店舗と日本料理、中華料理、ベトナム料理屋があります。少し歩きますがウォルマートもあるので日用品の買い物には困らず、また静かで安全な街だと思います。またバスで20分くらいの隣町に行くとショッピングなども楽しむことができます（学生はバス無料です）。

② 留学中はどこに住んでいましたか。

- a. 寮（○）： 何人部屋でしたか（ 2 人）
- b. アパート（ ）： 何人部屋でしたか（ 人）
- c. ホームステイ（ ）： 何人部屋でしたか（ 人）
- d. その他（ ）具体的に：

③ 住環境はどうでしたか。

交換留学生は新生入生だけが住むことができる寮に入ることになります。各階にバスルームとラウンジがあり、地下に洗濯機やキッチン、自動販売機があります。平日の22時～10時、土日の24時～12時は Quiet Hours になっていて部屋で勉強に集中できる環境です。寒さが厳しいスペリオル市ですが寮の中は常に暖房がついてるので快適です。また授業が行われる建物までも歩いてすぐなのでとても過ごし易かったです。

④ 食事はどうしましたか。

- a. 大学・寮のミールプラン（○）
- b. 主に外食（ ）
- c. 自炊と外食が半々程度（ ）
- d. その他（ ）具体的に：

⑤ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。

この大学は正規留学生が全体の10%を占めます。アジアからの学生が多いですが、ヨーロッパや南米、アフリカなどから多くの学生が在籍しています。留学生同士は最初のオリエンテーションに参加することで、スムーズに友達づくりができると思います。また学生の数が多いので、良い意味でコミュニティが狭く、友達の紹介などでたくさんの現地学生とも知り合えますし、カフェに行けば授業で知り合った人など、誰かしら必ずいるのでいつも話しかけるようにしていました。

⑥ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。

普通の土日は課題をやってから友達とおしゃべり、というのが基本でした。また土曜の午後はカフェが開まるのでみんなで自炊をするか外食に出かけていました。長期休暇は日本人の友達と旅行に出かけました。3回の休暇でシカゴ、ニューヨーク、フィラデルフィア、シアトルに行くことができました。ただ、冬休みは1ヶ月ありますが、さすがに1ヶ月旅行では金銭的にきついで1週間にし、残りの期間は寮に残っている人（主に留学生）と料理やおしゃべりをしてゆっくり過ごしました。また電子書籍で日本の本を買って読んだり、卒業論文のテーマ探しも同時に進めていました。

⑦ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

とにかく冬の寒さは厳しいので防寒着は必須です。また体調を崩してしまった時は教授にメールをすれば、比較的寛容に対応してくれるのでためらわずするのをお勧めします。危機管理としては財布とパスポートは常にカバンの取りにくい部分に入れておくことです。旅行の時はもちろん、普段の生活でも常に身につけておく方が良いと思います。

⑧ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。

留学生は基本的に寮で現地の学生との2人部屋になります。私の場合は特に大きなトラブルはなかったのですが、友人の中にはルームメイトとの生活リズムの違いで悩んでいる人もいました。その時は1人で悩まず、RA(Resident Assistant)や友人に相談して部屋を変えてもらうことをお勧めします。部屋を変えたからといってそのルームメイトとの関係が悪くなることはありませんし、プライベートの時間は学業にも影響するので我慢せず相談してくみてください。

4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

渡航費(往復の航空運賃)	210,000	円
保険代(旅行保険・留学先大学で加入する保険など)		円
住居費(寮費)光熱費等含む(月額)	25,000	円
食費(月額)	25,000	円
その他		円
総額(留学期間中の費用総額)	約 1,600,000	円

5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。

a. () 4年で卒業予定

b. (○) 卒業は延期する予定(延長予定期間: 1年)

② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)

留学前に、両親とゼミの先生と卒業を1年延長することを決めたので留学中は就職に関する活動はしていませんでした。しかし、ボストンキャリアフォーラムに参加した日本人の先輩から話を積極的に聞き、それまで考えてなかった選択肢ができました。今後は新たに興味が出た職種にも注目して就職活動をしていく予定です。

6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。

あっという間の8ヶ月でした。留学前は海外に友達を作りたいという思いがとても強かったのですが、日本人の学生も10人以上在籍しており、様々なバックグラウンドを持っている人が多く、日本にいただけでは得られなかった考え方などたくさんの刺激を受けました。もちろん日々の生活の中で色々な国の人と交流でき、留学をしてよかったと心から思います。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

英語力に関して言えば、リスニングは留学前と比べるとはるかに良くなったと実感しています。リーデ

ィングとライティングの速さも向上しました。スピーキングも留学前と比べたらはるかに話せるようになりましたが、継続していかなければいけないと思います。私自身の大きな変化としては、話す・動くということにさらに積極的になったことです。授業で分からないことは友人か教授に直接聞かなければならないことも多々あり、主体的に行動するようになりました。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

留学をするかどうかを気持ちの面で悩んでいるのであれば、一歩踏み出すことをお勧めします。将来何をしたいのかを見つける機会になるかもしれません。新しい自分を見つけることができるかもしれません。留学をして後悔することは一つもありません。迷ったら行く、皆さんの一歩の後押しになることを願います。